

H28/9/29 古土井会長・栢原監事——札幌・新潟の講演会で PIERS を熱く語りました

平成 28 年 9 月 29 日、同じ日に PIERS 研究会幹部二人が北海道と北陸で別々に講演を行いました。古土井光昭会長は札幌で北海道港湾漁港建設協会講演会にて、栢原英郎監事は新潟で北陸地方整備局新潟技術調査事務所講演会にて、英国 55 栈橋を 3 カ年にわたり調査して現地で撮影した 5 万枚から厳選した写真を使い、ビクトリア朝から続く波瀾万丈の歴史をも踏まえた「海を存分に楽しむ」インフラとしての英国栈橋の魅力について、それぞれに独自の視点とプレゼンテーションを取り混ぜながら、多数の参加者に熱く語りかけました。また、現地踏査で得られた知見を活かして日本の 8 海岸でケーススタディーを行った「Pier を活かした海岸づくり」の提案〈「沿岸域における地方創生研究会（沿創研）」H28.4 発行〉により、新しい海岸の楽しみ方のイメージを紹介しました。参加者からは、「これまでの栈橋のイメージとは随分違っていて英国だけの特異な文化かと思いましたが、ケーススタディーをみると日本でも面白い海岸づくりに使えそうで、大変興味深く有用なお話でした」という感想もいただきました。

〈新潟での講演会の様子 国土交通省北陸地方整備局新潟技術調査事務所 HP より〉